

希望を語る

2000 年 8 月発足

19年の歴史を持つ患者会“希望を語る会”ニュースレター



希望を語る会事務局:健康増進クリニック

Tel.03-3237-1777 Fax03-3237-1778

www.kenkou-zoushin.com info@kenkou-zoushin.com

パラケルススクリニックへの訪問

院長 水上 治

先日医師たちなどのグループと、オーストリア、ドイツ、スイスに出かけてきました。4か所のクリニックを回り、院長たちのプレゼンテーションを聴き、話し合いをし、大変勉強になりました。

特に印象的だったのが、スイスのパラケルススクリニックです。パラケルススは中世の名医で、このドクターの名前を冠しており、ここはおそらくヨーロッパの^{いち}評判を得ている名門自然療法クリニックです。世界中から患者を集め多数の医師が働いています。院長のラオ先生は多忙なので会えるかどうかわからなかったのですが、優しい医師で、私達のために十分時間を取ってくださり、院内を案内していただき、プレゼンテーションと質疑応答、さらに院内の食堂でのランチも付き合ってください、感激しました。食事は完全菜食でした。近いうちぜひ院長を日本に呼びたいと願っています。基本的には当院でやっていることと変わりませんが、興味深いのは、体をアルカリ性にすることにこだわることで、そうすると癌が消えやすいとのこと。いろいろな治療を組み合わせることで癌などを治癒にもっていくという実績は立派なものです。

当院での治療もさらに進化させます。

五行歌

小林美智代さま

すこやかに
老いの日々を
生きて下さうと
メッセージが届き
自分の老いを知る



世の中は
いい人に充ち
そのやさしさに
守られて
私は生きていく



山口県山口市

みーこねーちゃんの絵手紙

佐藤美恵さま



佐藤様は H7年に脳梗塞で左半身麻痺となり、H24年より当院にて鍼治療を開始し、加藤医師の勧めで始めた絵手紙。もともとは右利きですが、左の麻痺を克服するために、左手で書いています。それを北海道在住の妹さんに送ったところ、とても喜んでくださり、カレンダーにしてくださいました。(クリニックの待合室入口の扉に飾ってあります)

哀愁のリスボン テージョ川の畔で

ポルトガルの首都リスボンはテージョ川の河口にあり、その川面は肌理細かな漣であっても決して忙しない印象はなく、ゆったりと優しい表情で流れています。遠い歴史上のこの国と我国との軋みも流れに乗って大西洋に注ぎ散ったように感じるほどです。この街では探検航海のヒロイン「カラヴェラ」



と人々が口にするとき、その船の輝かしい大航海時代の歴史にこの上ない誇りと自負を込めて発音します。エンリケ航海王子のアフリカへの航海が度重なる失敗の後にやっと成功するという功績がなければ、大航海時代はなかっただろうし、今の世界も違っていたかもしれません。ポルトガルの人々は今もなお大航海時代の栄華の中に生きているのです。この国は 1584 年に天正遣欧少年使節が長い航海後に初めて踏んだヨーロッパの地でもあり、彼らの悲劇的な人生の顛末にしばし想いを馳せたのでした。

海洋博物館では船の進化を観察し、名産アズレージョ（装飾タイル）や美しい手描き陶器、名物のエッグタルトやバスコ・ダ・ガマ¹印の鯛、修道院お手製の卵の味がするパンや絶品のシーフードリゾットを楽しみ、その上、リスボンにはまだまだ楽しめることが山ほどあります。そして、アマリア・ロドリゲス²のファドも、マドレデウス³の哀愁を帯びたメロディもこの国の土壤にぴったりなことを実感します。街の空気がひたひたと旅人を浸します。



美術館はマニアなら、垂涎の場所。他では困り付きで近づくことができないヒエロニムス・ボス⁴の大祭壇画がガラスケースなしで展示してあります。訪問者は少なく、大画面に近寄ってまじまじと細部を鑑賞したり、長時間独り占めもできる幸運な場所です。さらには江戸時代の我が国との交易を描いた金屏風画や調度品も展示してあり、当時が偲ばれます。

そんな風に時を過ごしていると、意識の中で最も大切な「生きている」という分厚い看板が、柔らかく薄らぎ、絹衣になって頭上から肩の下に滑り落ちて来ました。

一滑り落ちてもいいのではないかと

テージョの流れと共に、ゆったりと存在していればいいのです。テージョの流れに連れ添って解放される空間。解放は快方に繋がるのではないのでしょうか。

テキスト/photo@海田芙柚悱

¹ Vasco da Gama: 1460-1524 探検家でインド航路を発見

² Amália Rodrigues: ファドの歌手

³ Madredeus 世界で大ヒットしたポルトガルのバンド

⁴ Hieronymus Bosch: 1450-1516 北方ルネサンスの画家

《院長と共に癌の勉強会》水上医師



第4水曜日 10月23日 15:00~16:00

放射線ホルミシスはミトコンドリアを活性化する
ヨーロッパ視察旅行の報告を兼ねて

要申込!!

☆当院患者様
☆そのご家族
☆eクリニック関係者
参加費無料

それ以外の方
参加費 5,000円

《瞑想指導》加藤医師

第2水曜日 10月9日 15:00~16:00

点滴治療中の方もご参加いただけます
お気軽にどうぞ!



場所 シアタースペースにて

☆今月のお花☆ ガマ・リンドウ・小菊



秋の風がなんとも心地よいですね。良い季節になりました。

今月のお花はこの季節の定番、リンドウ。秋を知らせてくれる様で、リンドウが出て来ると何故かホッとします。

リンドウは漢字で書くと「竜胆」と書きます。お花からは想像できないような字で驚きました。中国ではリンドウの根は漢方薬として使われていて、大変苦くて飲み辛い事から、竜の胆のように苦いと言われ「竜胆」と名付けられたそうです。

そんなリンドウですが、太陽が出ている時以外は花を開きません。意外と頑固者なのかも知れませんね。

リンドウの花言葉は漢方薬で病に勝つという事や高貴な紫のイメージから…

「勝利」「正義感」

M.I

★「希望を語る」は患者さまの体験談や、また特技を生かしたメッセージ、いま語りたい事、その他何でも、情報交換の場を提供させていただく冊子です。写真や原稿などございましたら、どうぞ事務所またはスタッフまでお知らせください。お待ちしております。